

## 第6回大山お地蔵さまフェスティバル開催



令和3年5月16日(日)、当会の継続事業である第6回大山お地蔵様フェスティバルが大山寺参道周辺で開催されました。

本来であれば当会全会員及び一般参加者で盛り上がり行われる大山お地蔵様フェスティバルですが、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響

と、当日の雨、強風により安全を考慮して当会会員のみの縮小開催となりました。

冒頭、高塚会長から、第1回からの大山お地蔵様フェスティバルを振り返られた後、「今回のテーマは「無病息災を祈る」となっています。コロナ禍の中ですがコロナを吹き飛ばすことも祈りながらしっかり掃除していきましょう。この事業が10年後20年後も継続して行われるよう全会員で頑張っていきましょう」という挨拶がありました。



続いて、安達実行委員長から趣旨説明が行われ「今回のお地蔵様フェスティバルではにこっさとさまダンスや大山時間さまと地蔵団子を考案するなどの新しい試みが生まれ、今後に生かせるものだと思います。本日予定にはないことが起こると思いますが、臨機応変に対応し、本事業の核となるお地蔵様清掃をしっかりと行っていきましょう」と述べられました。



その後清掃場所へ移動し、清掃前に高塚会長から、霊宝閣横のお地蔵さま(名称不明)に「もぐもぐ地蔵」と彫られた石碑の寄贈が行われました。大山文化財の整備や地元への貢献を考えて、第2回、第5回に引き続き寄贈いたしま

した。このたびの「もぐもぐ地蔵」にはお祈りした人の「好き嫌いがなくなるように」という願いを込めています。

その後、全会員でお地蔵さまの清掃を行いました。

大山寺参道という自然豊かな中に行き、私たちを見守っていただいているお地蔵様をきれいにする事で、改めて会員の中にお地蔵様、大山に対する感謝・畏敬の念が生まれました。



清掃後には、大山総合体育館において、中止になった新年例会で披露されるはずだった新入会員によるがいな太鼓演奏も行われ、閉会となりました。

大変勇ましく、統率の取れたがいな太鼓に会員も魅了されたのではないのでしょうか。



今回は会員のみの開催となりましたが、地域の保育園・幼稚園に作品を依頼してありましたお地蔵さま作品展の展示は当会のホームページ上で行ってありますのでそちらもご覧ください。

また、今回披露できませんでしたが、マスコットキャラクターのにこっさとさまダンスも完成しております。当会のホームページやフェイスブックページに会員がダンスを踊っている様子が歌詞付きでアップされていますので、ぜひ多くの方に見ていただきたいと思

います。来期以降もお地蔵様フェスティバルは継続していきます。来期も会員一丸となって大山お地蔵様フェスティバルを盛り上げていきます!

(記事:小原)

### 第6回大山お地蔵さまフェスティバルを終えて

安達 信彦 (株式会社平設計 設計課長)



第6回目となる大山お地蔵さまフェスティバルを5月16日(日)に無事開催する事が出来ました。この度は、新型コロナウイルスの感染状況及び当日の強風・雷注意報発令により、会員みでの開催となりました。参加を楽しみにして頂いた会員のご家族の皆さま、そして、多くの子ども達にご参加頂くことは出来ませんでしたが、当フェスティバルの根幹となるお地蔵さま清掃を会員全員で実施する事が出来ました。今回のテーマ「無病息災を祈る」の想いは、会員一丸となって心を込めて清掃する事で果たせたと思います。

今回は9月には実行委員会を立ち上げ、早い時期から準備を進めて参りました。どうしてもコロナ禍での開催条件を考慮する必要があり、企画準備は大変でしたが、その中でも「にこっさとさまダンス」や「地蔵団子」の考案などの新しいアイデアが生まれ、お地蔵さま作品展のバーチャル展示やQRコードを利用したスタンプラリーなど時代の変化に対応した企画も出てきました。それぞれが今できる最大限を常に考えて頂いた成果だと思います。

フィナーレを飾った、新入会員の皆さまによる気持ちの入った太鼓演奏では「無病息災を祈る」を体現して頂きました。それぞれの想いが実って、次回開催には沢山の方々をお迎えできるように期待します。皆さま、ありがとうございました。

## ステージ部の想い

景山 慎也 (サンクリーン株式会社 取締役営業部長)

第6回お地蔵さまフェスティバルに向け、私たち総務委員会はステージイベントの目玉となる「にこっとさまダンス」に携わりました。

後世にも残るであろうこのダンスPVの撮影のため皆で集まり猛特訓の日々でした。家族でこのダンスを習得してくださった会員さんもおられ、PV動画を見てくださった方々は力の入れ具合を感じていただけたと思います。(なかにはアレ??というところもありましたが(笑))

実際に多くの方が参加した場でご披露が出来たなら、ステージの周辺が一体感で満ち溢れ、〇〇坂のコンサートのようになった事だと思います。

来年以降は参加いただく全員で、子供たちがその辺で普通に踊っている事を祈念して筆を置かせていただきます。



## 広報・製作展示部の想い

谷村 祐也 (美保テクノス株式会社 営業部主任)

ビジネスメディア委員会は広報・製作展示部を任せられました。フェスティバル当日に、自分の作品を探す子供たちやご家族の姿を想像しながら準備を進めました。ご協力いただいた各保育園の園長様をはじめ関係者の方々には、終始笑顔でご対応いただき感謝を申し上げます。

今回、子供たちから多くの作品を応募いただいたことに皆が感動しました。一生懸命製作した子供たちの想いに応えるべく、一つ一つの作品を大切に扱うことを心掛け、当日に向けて全員で作品展示の準備をしました。

今年はWEB展示となりましたが、子供たちからのたくさんのお地蔵さまの作品は、私たちに感動というご利益を与えてくれました。

来年は、参道が多くの子供たちの作品と素敵な笑顔で溢れることを願っております。



# お地蔵さまフェスティバルへの想い

## にぎわい部の想い

濱 真一 (株式会社カーロード山陰 専務取締役)

今回お地蔵さまフェスティバルが縮小開催となりました。政治行政委員会が担当させて頂いたにぎわい部は中止となりました。このにぎわい部は来場していただいた皆様に楽しんでもらうというのが趣旨です。明穂部長を筆頭にバターゴルフ、射的、ヨーヨー釣りの企画を考え、子供たちが喜び企画になるよう景品なども工夫していました。また、働く車展示として自衛隊にも協力をしていただく予定でした。こちらについては、子供たちの笑顔を望む明穂部長の尽力で実現できたことでした。今回はにぎわい部が中止となりとても残念ですが、来期は子供たちや参加して頂いた方々の笑顔が増えるようにして頂きたいです。



## 清掃・大山そば部の想い

宇佐見 啓輔 (エレックス株式会社 執行役員 システム部 部長)

今回、新型コロナウイルス感染症への対策を考慮しながら、恒例となっている流しそばをどう開催するのかが大きな課題でした。当初、部内ではステージ会場以外での食事スペースの確保や飲食への感染リスクを考えると「そば」提供自体をやめ、別の形にしたほうがいいのではないかという意見が多かったですが、安達実行委員長の流しそばへの熱い想いを聞き、新井副委員長、坂本部長を中心に食事会場やキッチンカーを確保し「温そば」の提供が可能になりました。また、清掃では、スタンプリーでの対策が必要でした。

ハーツテクノロジー株式会社のご協力により、スマートフォンアプリを用いてQRコードを読み取りデジタルスタンプに変えることで接触感染防止を図りました。当日は、縮小開催かつ天候不良により「温そば」は中止、またスタンプリーも現地への設置ができませんでしたが、次回へ繋がる大きな一歩になりました!



## 新井副委員長からみたお地蔵さまフェスティバル

新井 翔太 (サンイン・フーズ株式会社 営業部 係長)

第1回から行なわれておりますお地蔵さま作品展。作品の募集を西部地区の保育園・幼稚園に依頼して集めています。毎回同じ園へ依頼するわけではありませんが、卒園、入園と忙しい時期での募集にも関わらず、快く引き受けて下さる園ばかりだったと感じました。これもお地蔵さまフェスティバルが第6回まで開催されて、地元へ浸透してきた結果ではないでしょうか。参道周辺の方々にも多くのご協力を頂いております。皆様からも「大山に多くの方が来てもらえるこのイベントはとても有難いです。ぜひ続けていただきたい」と言われました。当会主体という事で色々で会員の方々に負担をかけますが、このイベントを長く継続していくべきだと強く感じました。



## にこっとさまダンスにかける想い

長谷川 恵一 (HASEGAWAテクニカ(株))

にこっとさまと踊れたら面白いんじゃない?そんな適当なノリが「にこっとさまダンス」作成の始まりでした。結果としてはステージ部全体で団結が増し、大成功だったと自賛しています。ダンスが完成に近づき、練習を重ねるにつれ、コロナ禍でもディスタンスを保ちながら楽しくフェスティバルの一体感が増えていく、そんな当日を思い描いていました。複雑な状況下でもやれることをやる!みんなが楽しめることをする!

来年は子供たちや大人までも笑顔で踊っている姿を楽しみにしています。

最後に、ダンス作成から練習、撮影までお付き合いいただいた方々に深く感謝を申し上げます。わがままな部長を支えていただき、ありがとうございました!



YouTubeで  
見ることが  
出来ます!!





# 第46期ハンサム連載『会社の「当たり前」をやめた!』



## 『会社の「当たり前」をやめた!』Vol.9

D's的農業をカッコヨクのすめ

# 株式会社 D'sプランニング

第三編集部 谷村祐也(リーダー)、松井淳一、河津孝彦、狩野智邦、伊澤佑矢、石井道治

農業という仕事をイメージから変えていこうとしている株式会社D'sプランニングの上田専務取締役役にお話を伺いました。



### ・農業の当たり前とは

農業は高齢化により衰退している状態で3K(キツイ・汚い・稼げない)が当たり前の業界である。生産者の多くは自分の労働を価値計算せず、「繁忙期はずっと働く」「天気に左右される」など仕事や売上に波があることも当たり前。作物が商品で自分たちに価値を見せず若者の就職先としての選択肢に入らないことが現状である。

また他業種では当たり前の変化が通用していない。ある意味「時代が止まってしまった業界」というイメージから、「カッコ良さ」「スタイリッシュ」に方向性を振り切り「農家さんなの?」という

オーバーな見た目と、しっかりとした作物作りや組織作りを創り出すことで、作物を作るだけでなく作り手にもスポットライトを当て、農業の3Kイメージを脱却したいと考える。そして、法人化して大規模で動けばやれることは増えてくるので、地域の生産者への支援をしながらまとまったチームとして動き、その代表になっていきたい。

### ・今までの農業生産組織からの脱却

まず農業を「かっこいい」に結びつけるためのスタンスとして、現状維持は衰退と同じという思いを忘れずに常にチャレンジし続けている。作物は多少ダメージを受けた方が強く成長する。人や組織の成長に関しても同じで、問題を見つけ対応していく事も成長につながると考えている。

他業種でのサラリーマンのように働いてもらうため年間生産スケジュールを策定した上で週間スケジュールにまで落とし込んで生産管理をする事で休日を設けた(週一日は希望休)若い人達が都会へ出て行く事の歯止めとなるために、改善した労働環境と「若さ」を継続する事で地域に受け入れられ、支えて頂いた皆さんへの感謝を形として返していきたい。

また生産者の多くは個人経営だが、法人化して大規模経営し、勤務時間のシフト制や役割分担をすることで更なる労働環境を改善し3Kから脱却した。それによって作物の品質も一定に保てることで、企業として新たな事業を創り出している体制になってきている。

### ・農業生産現場から新たな可能性とチャレンジ

生産者は決まった出荷先であるJAに作物を出荷していることが多い。その安定した市場で売上だけでなくノウハウや販路の提供も同時に得ている。一方で生産コストが時間的・原価的にばらついており、売価とのバランスが悪い状態である。そのため100%自社販売をした方が生産コストと売価のバランスがよくなると考えている。

当社の販売ルートは社長が自らの人間関係を基盤にして構築してきた。その特徴は「人柄」で、販売先は条件面だけではなく、人と人の繋がりが利害関係を超

えた信頼を生み出し創り上げてきた。社長の人柄と当社の将来性(若さ)を認めてもらい取引をしている。一般的な農家と異なり、JAを一つの出荷先として取引している状態。販売先を状況に応じて変えること自体は一般的には当たり前だが、農業においてはそうではない。売上げの安定化のために独自の販路とこれまでの販路を共存確保することで経営の安定化を果たしている。

### ・農業の「当たり前をやめた」ことで生まれた価値とは

農業のイメージを変えるためスタイリッシュなホームページの作成、ポスター作成などの新しいイメージづくりをしていく中で、求人に応募される人が変わってきた。当初は「ひとまず働きたい」「土を触ることが好きだから」という人が志望してくることが多かったが「自分の作った作物を世界に輸出してみたい」「若い人が多く楽しそうでチャレンジできそう」など「夢をもって」県外から応募してくる事が多くなった。また「作物のパッケージを社内オリジナルで作る部門に挑戦する」など農業という事業の中で別の事業を行える可能性が広がってきた。まさに会社の理念として、夢を抱きながら新しい事業を創り出すことに繋がってきている。

農業のイメージを変えたことで得た新たな人材に、様々な夢を実現するため主体的に行動してもらおう。そして企業としての組織力や体力を失わないためにも農業を軸に事業を多方面へ展開していきたい。そして平均年齢の若さを維持した雇用を続ける事で企業としての元気さ、将来への可能性、社員一人ひとりのレベルアップなどが得られ、それらの相乗効果で業界の当たり前を壊し、独自の路線で物事を創り出していける事が当社の強みとなっている。



### 【取材を終えて】

D'sプランニングは農業に対する当たり前のイメージを変化させる為、法人化することで組織経営と労働環境と将来性を得た。また独自の販路から売上安定性を確保した。それらの相乗効果で新たなチャレンジができる社風を構築し、その社風に人材が集まるという好循環を創り出していると感じました。

(記事:狩野)

# 新入会員アトラクション がいな太鼓

俵 陽介  
株式会社 石田コーポレーション  
米子支店 設備機販部 次長

新入会員アトラクションのリーダーを務めさせて頂きました。継続実行委員会の俵陽介です。今回米子がいな太鼓に決めた理由としましては「カッコイイ」「新年に相応しい」という事と、新型コロナウイルスの影響により米子がいな祭りが中止となり太鼓を見る機会が無くなったことからです。新入会員で披露させて頂く事により、米子がいな太鼓を広め、地域貢献に繋げられるよう決めさせて頂きました。

練習では、楽譜を理解し所作を交えながら太鼓を打つことはとても難しく苦戦しました。高塚会長が掲げた第46期スローガン「協歩」のように新入会員同士が協力し一つの目標に向かって共に歩み、新年例会で披露するという事は出来ませんでした。より絆を深める事が出来たのは良かったと感じております。

本番では第6回大山お地蔵さまフェスティバルにおいてテーマである「無病息災」を祈り演奏させて頂きました。曲名「輝勇」のように10人全員が力強く演奏し、終わった時には達成感でいっぱいでした。

これまで山内委員長や多くの会員の方々には、いろいろとご指導を賜り、また温かい励ましのお言葉をいただき有難うございました！そしてこの新入会員アトラクションを通して得た事を今後の中央会活動に活かし盛り上げて参りますので宜しくお願い致します！



## 会長連載

# 勇気ある一歩

～クールヘッド・ホットハート～

第46期 会長 高塚 康治

大山お地蔵さまフェスティバルのフィナーレに新入会員アトラクションを開催することができました。皆様の英知を結集し、総務委員会主導で予算もしっかり通り、素晴らしい事業になったと思います。何よりたくさん練習し、最高のがいな太鼓を披露いただきました新入会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。継続事業のひとつとも言っている中央会の部活みたいな汗臭さがそこにはありますね。いよいよ46期もフィナーレを迎えようとしています。5人の委員長の委員会報告を楽しみに、会員の皆さま、ラストスパートよろしくお願ひいたします！そして47期の方針説明を会員みんなで見届けましょう！

## CAMP

# 小谷流アウトドア

小谷 泰樹

(株シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー)

少し前に登山を始めました。今は四国や中国山地をよく歩いていて、いつか憧れの日本アルプス槍ヶ岳に登ってみたいと思っています。

ここ数年、キャンプやカヤックフィッシングなど自然の中でよく遊んでいます。登山を始めたのも、風波のある日はカヤックを出せないから。山なら行けるので自分のアウトドアローテーションをうまく回せるかな、と思ったからです。広く、浅く、自分なりに楽しんでいます。

私にとって自然の魅力とは「刺激的」なところでしょうか。季節や天気、時間によって刻々と変わる景色や動植物の姿には一々感動し、飽きることがありません。いつも変化する自然は膨大な情報量で五感を刺激し、ワクワクさせてくれます。

コロナ禍もあって、中央会でもキャンプアウトドアに興味を持たれる方が多いようです。キャンプは道具さえあればできるし、家族も一緒に始めやすいですね。今回、「テントの選び方」も書いて欲しいと依頼されたのですが、テントは家族用とソロ用の二つしか持っていないし、よく分かりません(笑)。ただ、自分好みの道具を探し、使うのもキャンプアウトドアの楽しみの一つです。自分がカッコイイと思える道具を選ぶと愛着も湧いて何度も使ってみたくなるのではないのでしょうか。

キャンプは皆で集まってやるのも楽しいです。中央会にも仲間がたくさんいますので、興味のある方は是非、声をかけてみてください。

## 6月役員会報告

令和3年6月1日(火)米子市公会堂 集会室6・7にて6月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・第6回大山お地蔵さまフェスティバル開催の件
  - ・鳥取県中小企業青年中央会の件
  - ・6月例会開催の審議
  - ・第40回全日本トライアスロン各部活動費に関する上程書
  - ・総会・卒会式開催の協議
- ※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

## 編集後記

皆さま、お地蔵さまフェスティバルお披露でした。新型コロナ警報が発令される中でも開催できたことはコロナ禍に負けないという非常に強い気持ちを感じることができました。来年こそは会場を来場者でいっぱいにして、新型コロナを乗り越えたいものです。

(伊澤 佑矢)



## 河津孝彦の月刊ストライク!?

河津孝彦(有)サンイン興産 専務取締役)

ついに来ました!月刊ストライク第1回目の連載です。こちらではボウリングの面白さや解説、醍醐味についてご紹介していきたいと思ひます。今回は、難易度MAXに入る「ビッグフォー」のスプリットメイクです。残った時は落ち込みますが、これをスベアしたときの快感は何事にも変え難いです。ビッグフォーは両側に2本ずつあり、狙うのはどちら側でも良いです。今回は左側から狙います。狙って投げるのは緊張しますが写真の④番ピン左側にボールを極薄く当て、④番ピンを横に飛ばします。この時点で頭の中は「お!?」と気持ちが高まります。飛んだ④番ピンが⑥番に当たります。ここまで来ると声に出ないが心の中で叫んでいる状態!④番ピンが⑥番ピンに当たった跳ね返りで⑩番に当たる!⑩番ピンが揺れている!息をするのも忘れて心の中で倒れると祈る!ゆっくりと⑩番ピンが倒れた瞬間、アドレナリンが分泌されて大興奮!叫び、飛び跳ね、ガッツポーズを決める!!最高の瞬間です。この興奮を味わいたい方は是非ボウリング場へ足を運んで下さい。ビッグフォーが取れた日は寝るまで顔が緩んでいること間違いなしです!

# 新入会員

(政治行政委員会)



たみや しんじ A型  
田宮 慎二  
有限会社田宮園芸 代表取締役社長  
植木卸・生産  
〒689-3203 鳥取県西伯郡大山町小竹704  
TEL:0859-54-4756 FAX:0859-54-2183

R03.04(R02年度)入会  
(推薦者)福本(隆)  
徳中(太)

〈コメント〉この度、中央会に入会させていただきました。樹木の生産卸をしている有限会社田宮園芸の田宮慎二と申します。他業種の方々と交流や活動を通じ、自分も会社も成長していけたらと考えております。何卒、よろしくお願いいたします。